

☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



タンチョウ
画:橋本正弘

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 芹沢 芳郎
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387

第35回公害被害者総行動デー開かれる

大臣との再交渉を約束

公害の根絶と被害者の救済を求めて全国の公害被害者が環境省はじめ政府各省と経済団体などと交渉する、第35回公害被害者総行動デーが6月3日、4日の両日実施され、129団体、1250人が参加しました。前日に鳩山首相が政権を投げ出すという大混乱の中、当初出



席を予定していた小沢鋭仁環境大臣が不在の大臣交渉には、田島一成環境副大臣が応対。新政権のもとで改めて大臣交渉をすることを約束しました。夜の日比谷公会堂での決起集会は闘う仲間の交流が行われ、水俣病の和解、泉南アスベストの勝利判決(国は控訴)、有明海の開門を求める前進した闘いが報告されるのと会場はわれるような拍手に包まれました。

大気汚染被害者を代表して福島区患者会の川勝恭子さんが、被害の訴えと今後の運動への決意を述べました。沖縄普天間からの代表は「どうして沖縄だけがこんな苦しみにさらされるのか、他人の痛みを忘れない日本人になってほしい」と激しい怒りをもって訴えました。

中山事務局長は、被害が続く

松下 幸子 (西淀川公害患者と家族の会)

1日目、水・大気環境局に行きました。冒頭に倉敷・東京・愛知・千葉の患者から被害の訴えがあり要請項目の中心は、PM2.5の測定と具体的な対策を早くやること、NO_x環境基準をもとにもどすことでした。水・大気局長の回答には正直

川勝 恭子 (福島区公害患者と家族の会)

限り闘いは続く、時代を超えて子ども孫たちに闘いは引き継がれていくね被害に見合った制度を作らせるのが私たちの運動であり、第35回総行動の延長戦となる秋の行動の成功に向け「がんばろー」と呼びかけました。言って失望しました。環境基準を数字的には達成していても、現に患者は増え続けています。本場にきれいな水や空気環境であれば患者は出ないはず。これ以上患者を増やさないようにしてほしいです。

初めて大臣が私達の訴えを聞いて下さるとの事で、そんな大役が私にできるのかと不安でいっぱいでした。でも皆様の激励を受け交渉の部屋に入ったので



私達三人、アスベストの岡田さん、水俣の森さんと被害者の訴えを行いました。私は息のでない苦しみ、チアノーゼ症状、胸の筋肉の痛みなど発作が起った時の苦しみとせめて安心して治療が受けられるように医療費だけでも無料にしてほしいと訴えました。副大臣は耳を傾けて真剣に聞いてくださったのですが、なにぶん一人2分、3分で充分な気持ち伝わらなかったのではと、少し不満でした。